

# 第3回運営推進会議

令和3年5月30日

グループホーム軽井沢

## □議題□

- ・ 近状活動報告
- ・ 介護ケア事例研究について
- ・ 介護技術研修について
- ・ 質疑応答

入居ご家族 様	欠席
地域住民 様	欠席
松山市介護保険課 様	欠席
地域包括西 様	欠席
松山市社会福祉協議会 様	欠席
民生委員 様	欠席
グループホーム軽井沢職員	出席

コロナ対策の為、文書開催とする。

1 入居(所)者の状況( 5月 20 日) (男性 4 人、女性 14 人)												
内 訳	要支援2	0人	要介護1	3人	要介護2	0人	要介護3	7人	要介護4	3人	要介護5	5人
4月	入居(所)	0 人	(特記事項)									
	退居(所)	0 人										
5 月	入居(所)	0 人										
	退居(所)	0 人										
2 主な活動、出来事												
4 月 2 日	第2回運営推進会議内容の意見・要望書類各関係者に郵送する。(生石・味生地区支援センター、各関係者の意見・要望の返答なし) 4/15松山市介護保険課へ運推報告書郵											
4 月 7,8 日	各ユニット会議行う(各利用者のケアについて、ケアプラン更新のためカンファレンス行う、業務連絡事項)											
4 月 18 日	介護技術の勉強会行う											
4 月 21 日	こいのぼり作りを利用者と作成する											
4 月 29 日	インシデントの検討カンファレンス行う・各利用者のケアについて話し合う(ぼんかん)											
5 月 8 日	職員全員PCR検査し、後日職員全員陰性と連絡あり。											
5 月 9 日	日中想定で避難訓練行う・さくらんぼユニット会行う(運推テーマ・ケアプラン、各利用者のケア内容の検討・業務連絡											
5 月 末日	3回に分けて急変時対応の研修行う。											
5 月 21 日	合同レク 缶蹴り競争・新聞綱引きゲーム											
3 次期の主な活動予定												
6 月 日	土砂災害訓練・資質向上のための研修会											
7 月 日	第2回身体拘束適正化委員会・第4回運営推進会議・職員自己評価(中間)・七夕レク											
月 日												
月 日												
月 日												
4 特記事項、その他												
①												
②												
③												
④												

# 介護ケア事例研究

## 1. 基本情報

利用者名 K. N氏	70歳代	女性	要介護 3
認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度	

## 2. 本人の状況

日常生活は理解できてはいる。食事は自立。声掛けや誘導にて衣類の着脱を行うことはできるが自分が出来ない事に不安が増し落ち着かなくなる。トイレの後始末も出来なくなってきており、トイレ内を排泄物で汚してしまう。簡単なお手伝い(お盆拭きやテーブル拭き)は出来るが盛り付けや洗濯たたみ・干しなどの理解はあるが実行に移すことが困難である。コミュニケーションはできる。性格は人と話すことが好きで穏やかな性格である。

## 3. 本人のニーズ・課題

・トイレの後始末が困らない ・自分にあつたお手伝いやレクができ自信を持ちたい。

### 長期目標

自分に自信がもてる

### 短期目標

困りごとが軽減する・コミュニケーションを図り楽しめることが出来る(二か月間の様子を評価する)

### ケア内容

・排泄時間を把握し適時にトイレの声掛け行う  
・トイレ後のパッドの確認と自分で出来る動作の促し。  
レクやお手伝いに参加し皆と関わる時間を作る

# 介護ケア事例研究

# 介護ケア事例研究

## 5. 実施内容

<p>〈かかわり〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・トイレ行った際にはトイレ動作の声掛けと後始末、パッドの確認をおこなった。</li><li>・排泄時間の把握は困難だった。</li><li>・レクの時間と他者と過ごす時間を設けた</li><li>・お盆拭き。食器拭きのお手伝いは、かろうじて行えたが洗濯たたみは畳むことが出来ず丸めるのみであった。</li></ul>	<p>〈本人の様子〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ズボンの着脱は行えていたが、パッドの当て方が出来ずであった。便意時は数秒おきにトイレに行き落ち着かない。汚染パッドの捨て方分からずあちらこちらに便でトイレ内が汚れることがあった。他者のトイレに行く姿やトイレの話しが耳に入るとトイレに行く回数が頻繁になる。</li><li>・レクは楽しく参加し楽しめていた。</li><li>・簡単なお手伝いは行えていたが、途中で手が止まり行えないこともあったが、お手伝いをお願いすると、いつも快く引き受けていた。</li><li>・他者と過ごせる時間を設けたが人の話しに感化され「お金がない。トイレ。帰らないかん」と不安が増してしまっていた。</li></ul>
--	--

## 6. 考察

<p>ケア事例開始時(4月開始)はトイレ動作も、ある程度は自分で行えていたが、4/20の昼食時(食事は自立、箸使用、普通食、おおまかに刻み食)に、箸で物が掴めない、おかずをぼろぼろこぼすなど異変がみられ急遽脳外に受診したが脳に異変はなかったが、その日を境に、トイレの場所、自分の席、居室が分からなくなる事が増えてきた。日中のトイレの頻度は多いものの職員の声掛けで落ち着くこともできている。その代わりに、夕食後から眠りにつくまでのトイレが頻繁になり、トイレ内での汚染も増えてきた。主治医に相談し、就寝時のお薬が処方され頻回なトイレは少なくなっている。便を出したいのに力む事が出来ないため排便コントロールを見直しスムーズな排便になるよう努めている。お手伝いも簡単な事柄は出来るため、今後も出来る事が続けられるよう支援していく。レクに参加してもらい楽しいと思える環境作りをしていく。</p>
--

# 介護ケア事例研究

## 1. 基本情報

利用者名 KM氏	年齢 80歳代	性別 女	要介護度 3
認知症高齢者の日常生活自立度		障害高齢者の日常生活自立度	

## 2. ADLの状況

指示理解、意思表示できず。家族の顔も認識できず、名前を呼べば返事はするが、声掛けへの内容は理解はできていない様子。歩行は不安定で手引きが必要。

## 3. 本人の課題

- ・歩行が不安定(左へ傾く、ふらつきがある、脚の筋力低下)
- ・発語が少なくコミュニケーションがとりづらい

## 4. ケアプラン

### 長期目標

自立歩行が安定する、他者との関わりが増える

### 短期目標

安全に歩行ができる、発語が増える

### ケア内容

- ・施設内での歩行訓練  
手引きにて施設内を歩行したり、介助バーを持って足上げの動作を行う
- ・レクへの参加で、身体を動かし、上肢下肢の筋力をアップが望めるように支援する
- ・発語を促すため、声掛けを行う  
トイレ誘導、歯磨きなどの生活動作全般の声掛けをきっかけに発語を促す
- ・他者との関わりで、刺激を受けて発語を促せるように支援する

# 介護ケア事例研究

## 5. 実施内容

〈かかわり〉	〈本人の様子〉

## 6. 考察

--

: 職員から出た意見

- 普段、自分が行っている介護をもう一度振り返り見直したい。
- 拘縮の利用者のオムツ交換や介助の仕方が苦手。
- ベッドから端座位にしたときのお尻の位置が浅く滑り落ちそうになる。
- 利用者とのコミュニケーション技術

職員の苦手意識がある部分を話し合い意見交換し、それぞれの介助方法を見学しあった。

仕事をする中で、分からない事や対応の仕方など、そのままにせずに、誰かに聞き又教え合うことで自分の成長に繋げていくことが大事であると認識できたと思う。